

英語科学習指導案

日 時：平成 30 年 11 月 1 日（木） 5 校時

学 級：3 年 3 組 男 15 名 女子 16 名 計 31 名

授業者：上間 みなみ

1 単元名 Unit 6 Striving for a Better World (NEW HORIZON English course 3 東京書籍)

2 単元目標

- ・読み手が理解しやすいように、粘り強く文章を書き直す。【関心・意欲・態度】
- ・自分の考えや気持ち、その理由をまとまりのある文章で書く。【外国語表現の能力】
- ・関係代名詞（主格・目的格）を用いた文の構造を理解する。【言語や文化についての知識・理解】

3 単元について

(1)教材観

本単元では、ノーベル平和賞受賞者であるアウサンスーチーさんについての内容になっている。様々な人に尊敬される彼女についての説明文や会話文を読み、自らの尊敬する人物について考えることに適した内容となっている。

言語材料としては、関係代名詞（目的格）の省略、関係代名詞（主格）、関係代名詞（目的格）が扱われている。本教科書では、関係代名詞の省略を先に導入する配列となっており、場面や状況の中でやりとり（speaking）を通して帰納的に新出表現に出合わせたい。そして、人や物について詳しく説明することができる関係代名詞のよさを活かして、自らの尊敬する人物について「書くこと」についての言語活動を行う。

新学習指導要領外国語解説「書くこと」（イ）「日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いてまとまりのある文章を書くことができるようにする。」について指導する。自分の尊敬する人物についての考えや気持ち、その理由などを分かりやすく述べる方法を学び、まとまりのある文章を書く力を育てたい。

(2)生徒観

4 月になって行ったアンケートでは、60%の生徒が英語は得意ではないと答えているが、70%以上の生徒が英語が好きと答えている。4 技能の中でも、話すことや聞くことが好きと答えている生徒が多い。そのため、毎時間短い時間ではあるが speaking 活動を行い、楽しい雰囲気英語を話す準備をしている。英語が苦手と感じている生徒は多いが、ほぼ全ての生徒が授業に参加することができる。

また、この学年は 1 年生では、自己紹介や他者紹介を短文で羅列的な形式で書き、2 年生ではトピックについて即興でまとまりのある文章を作る活動行ってきた。そこで 3 年生では理由・根拠を示してまとまりのある英文を書く力を育てたい。

「書くこと」についての課題として、書く内容を考えることに時間がかかりすぎてしまうため、マッピングやペア活動により、書く内容を充実させながら英語で書く時間を確保できるように工夫する。また、一度書き上げた文章を粘り強く見直したり、書き直したりすることができていないため、ペア活動やワークシートの工夫、読み手への意識を持たせることで、その課題に迫りたい。本単元で最も力を入れたい課題としては、読み手を意識して、分かりやすく伝えようとして書くことができていないことである。自分の言いたいことだけを書いて伝えるのではなく、読み手を意識して、ペア等で推敲する言語活動によって、単元目標に迫りたい。

(3)指導観 (工夫する点)

本単元では、3つの単元の目標に迫るため、生徒の学習課題への対応として、以下の点について工夫しながら指導にあたる。

- ①単元の最初に、学習到達目標とその評価方法について確認し、見通しを持たせる。
- ②短文で構成された1年生の頃の作品「好きな有名人を紹介しよう！」を見せ、気づきを活かしてまとまりのある文を書くことを意識させる。
- ③文章の内容を充実させるためマッピングやペア活動等を取り入れる。
- ④生徒が1st draftを書いた後に、教師のGoodモデルとBadモデルを提示することで、気づきを活かして推敲させる。
- ⑤推敲の過程が見えるように、A3版1枚のワークシートを作成する。
- ⑥ペアで行う言語面での推敲の練習として、教師の書いた英文に対する Error Correction を行う。

Can-Do リストの学習到達目標

3年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の考えや気持ち、事実などを理由や根拠を示し、まとまりのある文章を書くことができる。 ・場面や状況にふさわしい表現を用いて書くことができる。
2年	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見、感想、理由を述べて文章を書くことができる。 ・6文程度のまとまりのある文章を書くことができる。
1年	<ul style="list-style-type: none"> ・簡単な語や基礎的な表現を用いて日常的な話題について、短文を6文程度書くことができる。(羅列的) ・文のきまりに従って、簡単な文章を書くことができる。

(4)校内研との関わり

本校は、「確かな学力を身に付け、主体的に学習に取り組む生徒の育成」～主体的・対話的で深い学びを取り入れた授業改善を通して～を研修テーマとしている。日々の授業で、自分自身のことについて考えや気持ちを表現する活動や、苦手な生徒に手立てを講じることによって、興味を持って主体的に英語の授業に取り組む工夫を行っている。また、支持的風土のある授業を心がけ、一人一人の学びを大切に、互いに助け合えるようにペア活動やグループ活動を適宜取り入れた対話的な学び合いができるよう工夫している。深い学びについては、目的・場面・状況の設定を行い、見方・考え方を働かせることによって迫りたい。

4 単元の評価規準

ア.コミュニケーションへの関心・意欲・態度	イ. 外国語表現の能力	ウ. 外国語理解の能力	エ. 言語や文化についての知識・理解
・粘り強く文章を書き直している。	・自分の考えや気持ち、その理由をまとまりのある文章で書いている。	/	・関係代名詞（主格・目的格）を用いた文の構造を理解している。

5 単元計画

単元	Unit6 Striving for a Better World		
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・読み手が理解しやすいように、粘り強く文章を書き直す。 ・自分の考えや気持ち、その理由をまとまりのある文章で書く。 ・関係代名詞（主格・目的格）を用いた文の構造を理解する。 		
時間	ねらい・主な学習内容	単元の評価規準	【評価方法】とWTに向けた取り組み
1	<ul style="list-style-type: none"> ●本単元で身に付ける技能や理解する内容を知る。 ・本文の（6-1）を理解する。 ・単元末のライティングテストについて伝える。 ・単元課題（MOTO Nobel）の提示 ・活動を通して、関係代名詞（目的格の省略） 		<ul style="list-style-type: none"> ・単元のゴールの到達目標とその評価方法を知らせる。
2	<ul style="list-style-type: none"> ●本文から尊敬する人物の情報をどのように述べるか理解する、自分の尊敬する人について情報を集める。 ・本文の（6-2）を理解する。 ・マッピングを活用し、情報を集める ・マッピングを使って尊敬する人をペアに伝える。（Speaking） 		<ul style="list-style-type: none"> ・マッピングで情報を増やし、必要な語句を英語で確認しておく。
3	<ul style="list-style-type: none"> ●人やものについて詳しく説明する方法を知る。 ・前時を振り返り、本時のターゲットに繋げる。 ・Quiz（身近な人の尊敬する人を当てよう！）で関係代名詞（主格）“who/ which”を導入する。 ・教科書 90p の(step1)と(step3)を行う 	エ	【後日パーパーテスト】
4	<ul style="list-style-type: none"> ●人やものについて詳しく情報をつけ加える。 ・活動を通して、関係代名詞（主格）“that”を導入する。 ・関係代名詞（主格）“who / which / that”を使って Quiz を作成する。 	エ	【後日パーパーテスト】

5 本 時	<ul style="list-style-type: none"> ●自分の尊敬する人についての文を作成、再考する。 ・自分の尊敬する人について文章を書く。 ・ペアで文章の内容と表現を添削し合う。 ・教師の good/bad のモデル文を提示し、自分の文章を再考する。 	ア イ	【活動の観察】 【ワークシート・後日WT】
6	<ul style="list-style-type: none"> ●人やものについて詳しく情報をつけ加える。 ・尊敬する人についての文章を書き直す。 ・活動を通して、関係代名詞（目的格）“ that / which ”を導入する。 	ア エ	【活動の観察】 【後日パーパーテスト】
7	<ul style="list-style-type: none"> ●偉人についての本文内容(6-3)(6-4)を読む。 ・「スーチーさんの側面① 政治生活 ② 私生活」を読み取る。90p(step2) 		
8	<ul style="list-style-type: none"> ●友達の書いた文章を目的を持って読む。 ・活動『MOTO Nobel prize を選ぼう！』 		

6 観点別評価の進め方

ア. コミュニケーションへの関心・意欲・態度

粘り強く文章を書き直している。

- (1) 評価方法：活動観察
- (2) 評価の決定：「おおむね満足できる」(B)
→友達等と内容や言語面について対話しながら見直したり、書き直したりしている。
- (3) 「努力を要する状況」(C) と判断した生徒への手立て
→見直す視点を個別に確認する。
モデル文をアレンジし、尊敬する人について書くことができるように助言を行う。

イ. 外国語表現の能力

自分の考えや気持ち、その理由をまとまりのある文章で書いている。

(1) 評価方法：ライティングテスト

(2) 評価の決定：「おおむね満足できる」(B)

→自分の尊敬する人についてまとまりのある文章を6文以上で書くことができる。

(3) 「努力を要する状況」(C) と判断した生徒への手立て

→書く事柄、参考となる英語の語彙や表現を確認する。

(4) 「おおむね満足できる」(B) の評価基準

はじめ→ I am going to introduce a person I respect.

人物について→ This is Ichiro. He is from Chiba. He is a baseball player who made a world record. (I have (a) reason to respect him.)

尊敬する理由→ I think he is a hard worker. He practiced his swing afterschool every day for 3 years when he was in high school. Swing is not fun. So, it is difficult for me to do it.

Now he became a famous baseball player and he is known all over the world.

おわり→ So, I respect him.

ライティングテストの実施について

内容 自分の尊敬する人について文章を書く。(授業で書いた人物とは別の人について)

方法 2学期期末テスト

7 本時の学習【5/8時間】

(1) 本時の目標

- ・尊敬する人の魅力を最大限に伝えるために粘り強く推敲する。(関心・意欲・態度)
- ・尊敬している人について、詳しい情報を加えながらまとまりのある文章を書く。(表現の能力)

(2) 本時の評価規準

- ・尊敬する人の魅力を最大限に伝えるために粘り強く推敲している。(関心・意欲・態度)
- ・尊敬している人について詳しい情報を加えながらまとまりのある文章を書いている。

(表現の能力)

(3) 展開

	学習内容	指導上の留意点	評価規準
導入	1. あいさつ 2. Happy hour Ask pair “How are you~?” ・Mapping を基に尊敬する人に伝え合う。(speaking)	・speaking では間違えることを恐れず、簡単な英語で伝えるよう助言する。	
展開	3. めあての確認 尊敬する人の紹介文 ～Moto-Nobel を目指して～ <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">どんな構成にしたらいいな？</div> 4. ・尊敬する人物について 1st draft を書く (writing) 5. ・書いた文章を互いに見直す (ペア) ・モデル提示 6. ・1st draft を書き直す (rewriting)	・目標を示し、今日すべきことを明確にする。 ・1st draft はできるだけたくさんの内容を書かせる。 ・それぞれの生徒の伝えたい内容を引き出すために、モデル提示は 1st draft の後に提示する。良いモデルと悪いモデルを提示し、生徒自身がまとまりのある文章の特徴を見つける。	ア 活動観察 イ ワークシート 後日 WT
終末	7. 振り返り	・学習課程を振り返って、分かったことや次に活かしたいことは何か。	

(4)板書計画

Today's goal

Evaluation

Sheet

Writing

Happy hour

①書きまろう！

②相談 time！
(内容・文法)

③書き直そう！

モデル文
(good)

モデル文
(bad)

階層マップ